

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) J F Eケミカル株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 111-0051 東京都台東区蔵前2丁目17番4号 J F E 蔵前ビル4階
----	------------------------------	----	--

本票作成 部署名：西日本製造所 環境管理室

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容；コークス炉ガスの精製及び化学製品、無機材料の研究、開発、製造及び販売 ・従業員；316名(平成29年7月現在) ・タール蒸留量；352千t/年
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	倉敷工場	岡山県倉敷市水島川崎通1丁目
	②	笠岡工場	岡山県笠岡市鋼管町9番2

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 28)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	183,285 t CO ₂	150,013 t CO ₂	176,060 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 28)年度排出量
	①	倉敷工場	71,591 t CO ₂
	②	笠岡工場	78,422 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 28 年度	～	平成 31 年度	(4 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(28)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	16.1 %	3.9 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
	設備別の補正装入量の合計	基準年度	(28)年度	目標年度
		279 t CO ₂ /(千 t)	234 t CO ₂ /(千 t)	268 t CO ₂ /(千 t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 28 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

倉敷工場においてはH27年7月の事業再編(Cガス精製部門をJFEスチールに移管)があった。したがって削減計画基準年度となるH27年度はCガス精製部門を3箇月分含み、一方H28年度はCガス精製部門を含まない内容となっている。この影響によりH28年度は笠岡工場と倉敷工場を合わせたCO₂原単位は大きく低下し、さらに省エネ対策の効果も相まって合計でのCO₂原単位は234 t/千 t となり前年度と比べ16%減少した。

(岡山県新エネルギー・温暖化対策室殿のご指導により、昨年提出したH28～H31年度の削減計画を終了とし、新たにH28年度実績を基準としたH29～H31年度の削減計画を今回提出いたします。)

【推進体制】

半期毎の予算編成時に総括室が各部署の省エネテーマを吸い上げ、計画を策定し、担当部署（総括室・各工場・設備管理室）を決めて実行している。毎月、製造所長・総括室長・各工場長以下のメンバーで開催される生産会議及び環境管理委員会において、各テーマの進捗状況について担当部署が報告を行い、フォローしている（両工場ともISO14001を取得済み）。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷工場	<p>(H28年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電池材製造設備4、5月集中生産による原単位改善 489t/Y ・蒸気漏れ管理強化 356t/Y ・カーボン容器充填数増による用役削減 2904t/Y <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱QI用役削減 ・焼成炉集中生産による用役原単位改善 ・焼成炉ロット量拡大による用役原単位改善 ・焼成炉原料充填率アップによる用役原単位改善
笠岡工場	<p>(H28年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ蒸気トラップ導入による蒸気削減 235t/Y ・アロマ回収塔還流比低減によるCガス削減 148t/Y ・熱交更新によるU値向上によるCガス削減 125t/Y <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ蒸気トラップ導入による蒸気削減 ・BTX省エネ蒸気トラップ導入による蒸気削減 ・フルオレノンポンプ省電力化

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--